

## FIFA ワールドカップ 2026

2026年6月26日（金）日本 vs スウェーデン 戦

### 観戦実態に関する調査

鈴木彩艶選手が 36.6%の支持で MVP！守護神の好セーブが光る一戦に

試合評価の平均点は 10 点満点中 6.81 点

調査実施：株式会社ネオマーケティング | 2026年6月実施 | 全国 20歳～79歳の男女名 1,110名

#### 【調査のファインディングス（要点まとめ）】

- ・10点満点中、平均点は約 6.81 点となりました。8点以上の「高評価」をつけた層は 38.1%に留まっており、最も回答が多かったのは「7点」の 20.9%でした。
- ・ファンが選ぶ MVP は、GK の鈴木彩艶選手が 36.6%。再三のピンチを防いだ守護神の活躍が最も高く評価されました。
- ・2026年アメリカ・カナダ・メキシコ大会からの視聴開始層は、観戦者全体の内 7.4%となりました。2002年日本・韓国大会以前からの継続視聴層が 68.9%となり、長きにわたる視聴層が多い結果となりました。

#### 【調査概要】

調査の方法：株式会社ネオマーケティングが運営するアンケートシステムを利用した WEB アンケート

方式で実施

調査の対象：全国の 20歳～79歳男女

有効回答数：1,110名

調査実施日：2026年6月26日（金）～2026年6月29日（月）

調査実施機関：株式会社ネオマーケティング（東証スタンダード上場）

#### 【調査結果サマリー】

「32.0%がテレビでリアルタイム視聴。一方で SNS やアプリでの状況確認も一定数存在」

#### 観戦・応援方法（回答率順）

※回答者=全員（n=1,110、単一回答）

テレビのリアルタイム中継で視聴した	32.0%
SNS や速報アプリで試合の状況を確認した	4.8%
テレビの録画・見逃し配信で視聴した	2.5%
DAZN のライブ配信で視聴した	2.4%

パブリックビューイング・スポーツバー等で視聴した	0.6%
観戦・応援はしなかった	57.7%

「2002年大会以前からの長期継続視聴層が半数以上。長きにわたる視聴層が厚い結果に」

### サッカー日本代表の観戦歴（回答率順）（上位5項目）

※回答者=観戦をした人（n=470、単一回答）

2002年日本・韓国大会	25.7%
1998年フランス大会	21.5%
1994年アメリカ大会	9.4%
2022年カタール大会	8.5%
2026年アメリカ・カナダ・メキシコ大会	7.4%

「ボリュームゾーンは7点（20.9%） GKのMVP選出と控えめな平均点は「防戦」の証か」

### 試合評価（10点満点）

※回答者=観戦をした人（n=470、単一回答）

スウェーデン戦の採点結果、最も回答が多かったのは「7点」の20.9%で、平均点は6.81点となりました。

厳しい戦いの中でも日本代表が一定の成果を残したと捉えることができます。8点以上の高評価層は38.1%となる。

「流れるようなパス連携からの先制点と終盤のピンチを救った守護神・鈴木彩艶選手のビッグセーブがファンの記憶に刻まれる」

### 印象に残ったシーン・プレー

※回答者=観戦をした人（n=470、自由回答）

自由記述回答（FA）のデータから、特に多く言及されていた内容を3つのポイントに絞って抜粋します。

#### 1.鈴木彩艶（ザイオン）選手のスーパーセーブ連発

試合終盤やアディショナルタイムでの決定的なピンチを防いだプレーが非常に強く印象に残っています。チームを救った守備を称える声が多数見られます

「後半アディショナルタイムのザイオンのセーブ」

「鈴木ザイオンのスーパーセーブに救われた」

「鈴木ザイオン選手が神がかったビッグセーブ」

## 2. 前田大然選手の先制ゴールとパス連携

多くの回答者が「前田選手の先制点」を印象的なシーンとして挙げています。

特に、ゴールに至るまでの「綺麗なパス回し」や「流れるような連携」、堂安選手からのアシストなどが高く評価されています

「きれいに崩した先制点のシーンはよかった」

「前田のゴールまでのパス回し」

「日本が1点を決めた時の流れる連携」

## 3. 長友佑都選手の出場とベテランの走り

久々の代表戦での出場が大きな注目を集めました。

最年長としてピッチを駆ける姿に「感動した」という意見や、チームの雰囲気を変えようとする姿勢を評価する声が届いています。

「長友の起用」「長友の出場」

「最年長の長友選手の走りに感動した」

「長友が出場出来た事です」

その他にも、試合中のイレギュラーな事象や、判定を巡る様々な意見など、熱量の高いコメントも散見されました。

**「1位は好セーブが印象的な守護神・GK 鈴木彩艶選手 36.6%、2位には攻守に奮闘したMF 前田大然選手 21.5%」**

### あなたが選ぶ MVP（回答率順）（上位5名）

※回答者=観戦をした人（n=470、単一回答）

【GK】 鈴木 彩艶	36.6%
【MF】 前田 大然	21.5%
【監督】 森保 一	12.1%
【MF】 田中 碧	5.3%
【MF】 堂安 律	4.5%

### 【調査背景】

サッカー日本代表の国際試合は、SNS や動画配信の普及により、試合終了直後から生活者の関心と話題が一気に高まる傾向にあります。特に FIFA ワールドカップのような国際大会では、試合の結果や選手のプレーに対する評価が国民的な関心事となり、幅広い世代にわたって観戦・応援スタイルも多様化しています。

こうした背景から、株式会社ネオマーケティングは、日本代表戦の観戦実態や試合評価に関する調査を実施しました。全国の20歳～79歳の男女を対象に、試合直後のリアルな声を収集・分析することで、スポーツ観戦をめぐる生活者意識の現在地を明らかにします。

■この調査で使用した調査サービスはコチラ

ネットリサーチ：<https://corp.neo-m.jp/service/research/quantitation/netresearch-domestic/>

■引用・転載時のクレジット表記のお願い

※本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例>「生活者を中心にしたマーケティング支援事業を提供する株式会社ネオマーケティングが実施した調査結果によると……」

引用元：[https://corp.neo-m.jp/report/investigation/sports\\_013\\_soccer-wc2026-japan-vs-sweden](https://corp.neo-m.jp/report/investigation/sports_013_soccer-wc2026-japan-vs-sweden)

データ引用に関する詳細なガイドラインについてはリクエストフォームページに記載の「本ウェブサイトコンテンツに関するガイドライン」をご確認ください。

■「ネオマーケティング」

URL：<https://corp.neo-m.jp/>

加盟団体：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会（会員社 No：20220）